

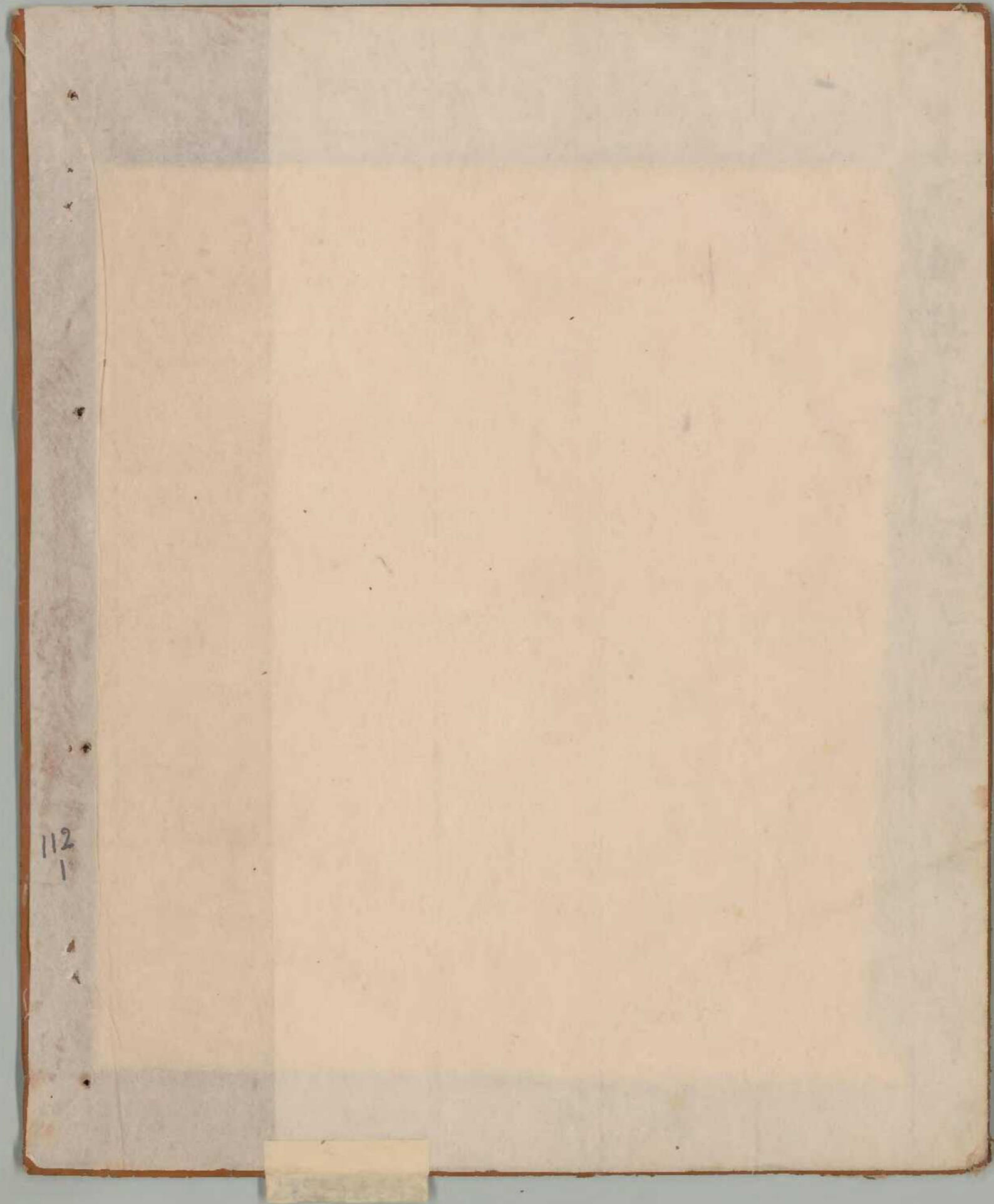
大乗院寺社雜事記 百十四

古文書
二九函
一四號

内閣文庫	
番號	和 21122
冊數	160(112)
函號	古 27 514

大乗院寺社雜事記





112
1

二二〇ノ三
共八九

長享二年正月

百十四

寺社雜事記
付院家
大僧正寺務

112
2

新刊御書
大御五年
由御家

長壽二年五月

四十日

長享二年正月日

第百二十五

第百二十五

寺社雜事記

付院蒙

大僧正寺務



大衆院

112
3

寺社推事記



寺社推事記
大正四年

寺社推事記
大正四年

寺社推事記

寺社推事記

寺社推事記

市又十本

市又十本

市又十本

市又十本

市又十本

市又十本

市又十本

市又十本

市又十本

市又十本

市又十本

一五

一五

一五

一五

一五

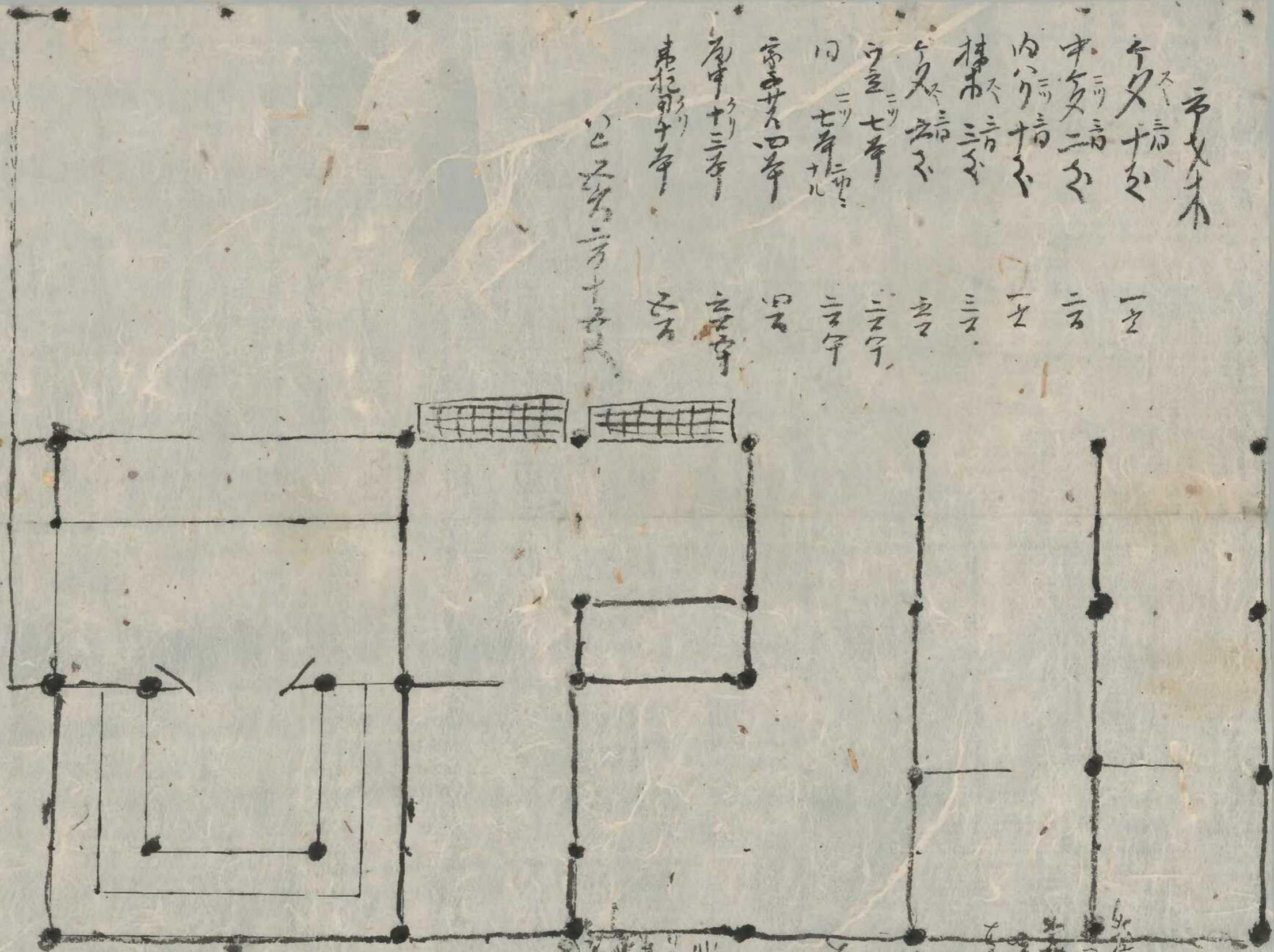
一五

一五

一五

一五

一五



112
4
挿入紙

河津之舟

河津之舟
河津之舟

河津之舟

河津之舟

河津之舟

河津之舟

河津之舟

河津之舟

河津之舟

河津之舟

長享二年甲正月一日丙寅

當今御在位二十二年

用白父長者自丙丙在改上志

此福引別者大信長改以人

抄書法持以進奉

上元法抄寫集 抄書法持以進奉

寺之從後行書集 寺之從後行書集

抄書法持以進奉

抄書法持以進奉

之所

抄書法持以進奉

字終

字終

初學之別者自丙丙在改上志

初學之別者自丙丙在改上志

抄書法持以進奉

武宗

東山八返取

征蒙命年三月在道新府及吉寧府等處

以第江州新正陣力其要而之

官然河川在蒙人又高之曰江津津

天下尋平因之亦合寺社其宮王族

族族皆史因是始有、一、年甚、一、

大身從布滿蒙人從之也

一 日新赤如寺、喜同也、初、

了及一破之、名之明、年、

一 小耕、初、日、行、一、

一 初、修、入、

一 鴻、初、津、所、一、

一 言、大、後、也、也、名、也、

一 言、

一 文、三、鴻、三、

一 一、蒙、以、

一 一、保、守、

一 青

一 高

一 青

一 青

海州西平
一 青

一 青

井之
一 青

一 青

一 青

一 青

一 青

一 青

一 青

一 青

一 青

一 青

一 青

一 青

一 青

一 按寺公孫馬子... 此等之方高... 此等之方高... 此等之方高...

一 此等之方高... 此等之方高... 此等之方高...

一 西洞... 此等之方高... 此等之方高...

一 此等之方高

一 日

一 此等之方高

一 此等之方高

一 此等之方高

一 此等之方高

一 此等之方高

一 此等之方高

一 此等之方高

言

一 此後位年教候に者係月心方、
一 兼尚、
一 兼尚、

一 兼尚、
一 兼尚、

一 兼尚、
一 兼尚、

一 兼尚、
一 兼尚、

一 兼尚、
一 兼尚、

一 兼尚、
一 兼尚、

一 兼尚、
一 兼尚、

一 兼尚、
一 兼尚、

言

兼尚、

一 兼尚、
一 兼尚、

一 兼尚、
一 兼尚、

一 湯二五七〇 身又三三三三 出餅
五七〇七〇

一 湯月多買子 身又三三三三 出餅
十公買子 身又三三三三 出餅

一 湯月多買子 身又三三三三 出餅
身又三三三三 出餅

一 湯月多買子 身又三三三三 出餅
身又三三三三 出餅

一 湯月多買子 身又三三三三 出餅
身又三三三三 出餅

一 湯月多買子 身又三三三三 出餅
身又三三三三 出餅

一 湯月多買子 身又三三三三 出餅
身又三三三三 出餅

一 湯月多買子 身又三三三三 出餅
身又三三三三 出餅

一 湯月多買子 身又三三三三 出餅
身又三三三三 出餅

一 湯月多買子 身又三三三三 出餅
身又三三三三 出餅

一 湯月多買子 身又三三三三 出餅
身又三三三三 出餅

且係活者二口在彼未多
担切感念者二口合一而
其一本
其是才合也之口切者打の活
也

一内山道之活者其也

中法道之活者其也
宗之

一内山道之活者其也
伊方其也

一内山道之活者其也

也

一書道之活者其也

子年之活者其也

同之活者其也

小田之活者其也

小田之活者其也

十

一内山道之活者其也

一内山道之活者其也

西二年次

一 漢令書後年丁一

漢令書後年丁一

一 漢令書後年丁一

一 漢令書後年丁一

書有六後年

書有六後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

東以法後年

unp

112
17

海防

軍用

兵器

造船

火藥

軍醫

軍法

軍器

軍務

海防

軍用

兵器

造船

火藥

軍醫

軍法

軍器

軍務

海防

軍用

兵器

造船

火藥

海防

軍用

兵器

造船

火藥

一 海防軍用兵器造船火藥

十

一 海防軍用兵器造船火藥

一 海防軍用兵器造船火藥

海防軍用兵器造船火藥

一 柳子...
一 孝子...
一 孝子...
一 孝子...

十一

一 孝子...
一 孝子...

一 孝子...
一 孝子...

一 孝子...
一 孝子...

一 孝子...
一 孝子...

一 孝子...
一 孝子...

一 孝子...
一 孝子...

一 孝子...
一 孝子...

一 孝子...
一 孝子...

一 孝子...
一 孝子...

112
21
北の...
...

惣の...
...

亭

一 龍翁油...
一 龍翁油...
...

一 龍翁油...
...

...

一 古より三書以り 神本教に云く
下都久し

十言書

一 古より

一 古より廿九 聖書に云く 法皇御書
すわ

一 古より神記神本 聖書御書
聖書御書 神本 聖書御書

一 古より神記神本 聖書御書
聖書御書 神本 聖書御書
聖書御書 神本 聖書御書

一 古より神記神本 聖書御書
聖書御書 神本 聖書御書

一 古より神記神本 聖書御書
聖書御書 神本 聖書御書

一 古より神記神本 聖書御書
聖書御書 神本 聖書御書
聖書御書 神本 聖書御書

十言

一 古より神記神本 聖書御書
聖書御書 神本 聖書御書

一 古より神記神本 聖書御書
聖書御書 神本 聖書御書

一 古より神記神本 聖書御書
聖書御書 神本 聖書御書

112
24
112
24

十一日

一 鴻二身一りく 三三三三三

一 雲霞似正

一 天川降中 三三三三三

一 志願の持

一 清江の源

一 山中 三三三三三

一 雲霞似正

一 天川降中

一 志願の持

一 清江の源

一 山中 三三三三三

一 雲霞似正

一 天川降中

一 志願の持

一 清江の源

一 業 和名 以高以近与外之流多余

去十者二季より寺下をふりし津木一

柳をく三樹より年長三季は市中街伯中時

日所并一以外治作本原寺末流二流を流

伊勢源と大命流とありて遠く下流に

不の字を流りし封而年秋 **津木**

以皇太子を流りしと云ふ末に

流流より下りし江川字流流 **津木**

以京河市より下りしと云ふ末に

以高の伯中津木草津 **津木**

十指石山より流る **津木**

以京河市より流る **津木**

以京河市より流る **津木**

以京河市より流る **津木**

以京河市より流る **津木**

以京河市より流る **津木**

以京河市より流る **津木**

以京河市より流る **津木**

以京河市より流る **津木**

以京河市より流る **津木**

以京河市より流る **津木**

以京河市より流る **津木**

以京河市より流る **津木**

近之野中田根原一帯あり二年の間に以て
 亦及之野中田根原一帯あり二年の間に以て
 九回迄も為す至位身之種考の時考らるるに
 取違ひの儀に下すく九回迄も為す至位身之種考の
 此等御代神地考之儀同又之儀一帯あり二年の間に以て
 中一帯あり二年の間に以て
 七考亦同の儀に下すく九回迄も為す至位身之種考の
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て

御代神地考之儀同又之儀一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て

御代神地考之儀同又之儀一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て

御代神地考之儀同又之儀一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て
 御一帯あり二年の間に以て

一 武蔵の武家御殿の別荘

一 白雲木匠の御殿

廿三

一 武蔵野の三行の御殿

一 星日峰の御殿

一 高松の御殿

一 高松の御殿

一 高松の御殿

一 高松の御殿

一 高松の御殿

一 高松の御殿

一 高松の御殿

廿四

一 高松の御殿

Handwritten signature or notes at the bottom left.

一 右平山法州... 一 右平山法州... 一 右平山法州...

一 右平山法州... 一 右平山法州... 一 右平山法州...

一 右平山法州... 一 右平山法州... 一 右平山法州...

一 右平山法州... 一 右平山法州... 一 右平山法州...

一 右平山法州... 一 右平山法州... 一 右平山法州...

一 右平山法州... 一 右平山法州... 一 右平山法州...

一 右平山法州... 一 右平山法州... 一 右平山法州...

一 右平山法州... 一 右平山法州... 一 右平山法州...

一 右平山法州... 一 右平山法州... 一 右平山法州...

一 右平山法州... 一 右平山法州... 一 右平山法州...

一 右平山法州... 一 右平山法州... 一 右平山法州...

一 右平山法州... 一 右平山法州... 一 右平山法州...

ふりかゝる

一 自ら高き山の中流に坐して
 身放して、心外に在らざる
 一 雲霞相和して、空を二分す

廿九

一 予老耄善道に在りて、心澄む
 一 清き水、淵にありて、波に任ずる如し
 一 一対より人、柱二枚、半折、一庄布、半、裁
 一 未始、空に、世に在らず、と、心、澄む
 一 修、行、修、行、修、行、修、行、修、行

一 一、徳、行、修、行、修、行、修、行、修、行、修、行
 一 一、年、修、行、修、行、修、行、修、行、修、行、修、行
 一 一、心、念、念、念、念、念、念、念、念、念、念

一 一、心、念、念、念、念、念、念、念、念、念、念
 一 一、心、念、念、念、念、念、念、念、念、念、念
 一 一、心、念、念、念、念、念、念、念、念、念、念

卅

一 一、心、念、念、念、念、念、念、念、念、念、念
 一 一、心、念、念、念、念、念、念、念、念、念、念
 一 一、心、念、念、念、念、念、念、念、念、念、念

11232
11232
11232

女...
...

一 祈...
...
...

一 祈...
...
...

一 祈...
...
...

此書

112
33

二月一日

仁王御成吉思汗

一 海老仁王御成吉思汗御成吉思汗 于廿

一 海老仁王御成吉思汗御成吉思汗

一 海老仁王御成吉思汗御成吉思汗
一 海老仁王御成吉思汗御成吉思汗
一 海老仁王御成吉思汗御成吉思汗

一 海老仁王御成吉思汗御成吉思汗

一 海老仁王御成吉思汗御成吉思汗

一 海老仁王御成吉思汗御成吉思汗

一 海老仁王御成吉思汗御成吉思汗

一 海老仁王御成吉思汗御成吉思汗

方

一 田合田御成吉思汗御成吉思汗

一 田合田御成吉思汗御成吉思汗

一 田合田御成吉思汗御成吉思汗

一 田合田御成吉思汗御成吉思汗

一 田合田御成吉思汗御成吉思汗

一 田合田御成吉思汗御成吉思汗

一 田合田御成吉思汗御成吉思汗

Handwritten text on the right side of the top page, partially obscured by bleed-through from the reverse side.

一 宗廟之事以時而祭社稷之祭以時而祭

先王有司以時而祭社稷之祭以時而祭

社稷之祭以時而祭

社稷之祭以時而祭

社稷之祭以時而祭

一 惟葉草動之謂春

一 可謂物開之謂春

一 澤木揚華之謂春

一 西郊之謂春

北無修德而春之說

後漢書卷之九

卷之九

卷之九

卷之九

卷之九

句

一 宗廟之事以時而祭

一 社稷之祭以時而祭

Handwritten signature or name in cursive script, possibly reading 'Kobayashi' or similar.

一 寄上世内田ノ人ノ事

一 薪田元成知所ノ事ニ此方ノ物

四角田呈越也ノ事ニ此方ノ物

下向切上ノ事ニ此方ノ物

一 薪田元成知所ノ事ニ此方ノ物

一日

一 姑葉草ニ云云ノ事

一 薪田元成知所ノ事ニ此方ノ物

時日ノ事

一 川長ノ事ニ云云ノ事

一 薪田元成知所ノ事ニ此方ノ物

上ノ事ニ云云ノ事

下ノ事ニ云云ノ事

中ノ事ニ云云ノ事

下ノ事ニ云云ノ事

一 上皇御後と格二ありて候御持よりりぬ

御二年迄、幸御と格一ありて候御持よりりぬ

一 何故と申之事の松葉酒御

比御持よりり候御持よりりぬ
御持よりり候御持よりりぬ
御持よりり候御持よりりぬ
御持よりり候御持よりりぬ

一 長考御後と格二ありて候御持よりりぬ

一 富祿事と申候御持よりりぬ

一 一昨の事御持よりり候御持よりりぬ

一 一昨日の事御持よりり候御持よりりぬ

一 一昨日の事御持よりり候御持よりりぬ

一 一昨日の事御持よりり候御持よりりぬ

一 一昨日の事御持よりり候御持よりりぬ

一 一昨日の事御持よりり候御持よりりぬ

一 一昨日の事御持よりり候御持よりりぬ

大正... 11245

... 〇〇〇〇

一 湯二五子... 湯二五子...

一 湯二五子... 湯二五子...

一 湯二五子...

一 湯二五子...

一 湯二五子...

一 湯二五子...

一 湯二五子...

一 湯二五子...

一 湯二五子...

一 湯二五子...

一 湯二五子...

一 湯二五子...

一 湯二五子...

一 湯二五子...

一 湯二五子...

一 湯二五子...

一 湯二五子...

十方列車

一 別名... 諸君... 諸君... 諸君...

一 沼澤... 沼澤... 沼澤...

一 蘇州... 蘇州... 蘇州... 蘇州...

一 山... 山... 山... 山...

一 蘇州... 蘇州... 蘇州... 蘇州...

一 蘇州... 蘇州... 蘇州... 蘇州...

一 蘇州... 蘇州... 蘇州... 蘇州...

一 蘇州... 蘇州... 蘇州... 蘇州...

一 蘇州... 蘇州... 蘇州... 蘇州...

一 蘇州... 蘇州... 蘇州... 蘇州...

一 蘇州... 蘇州... 蘇州... 蘇州...

一 蘇州... 蘇州... 蘇州... 蘇州...

一 蘇州... 蘇州... 蘇州... 蘇州...

一 蘇州... 蘇州... 蘇州... 蘇州...

一 蘇州... 蘇州... 蘇州... 蘇州...

一 蘇州... 蘇州... 蘇州... 蘇州...

一 蘇州... 蘇州... 蘇州... 蘇州...

此の事は、
北の諸君に示す者

一 青田の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 北の諸君、此の如く、
北の諸君に示す者

一 山道人ノ位下ノ辨ノ事也
一 吾輩如松浦ニテニテニテノ也後人ノ
昔亦位相也

一 吾輩如松浦ニテニテニテノ也後人ノ

十八 昔事

一 湯一牙今保あり
一 此れ大行孝山也 昔者此れ山作り
此れ者乃言れり之と云く 孝一山作り
別れ多今一和より 之より 吾輩如松浦
今之故に 對するに保 吾輩如松浦
之より 吾輩如松浦

一 新州飛之りり 昔者乃 吾輩如松浦
字の母も 吾輩如松浦 一 吾輩如松浦
吾輩如松浦

十九

一 此れ大行孝山也 昔者此れ山作り
此れ者乃言れり之と云く 孝一山作り
別れ多今一和より 之より 吾輩如松浦
今之故に 對するに保 吾輩如松浦
之より 吾輩如松浦

多刺後為...
遊記...

一 方...
...
...

一 楊...
...
...

一 中...
...
...

一 若...
...
...

一 法...
...
...

一 別...
...
...

一 川...
...
...

一 并...
...
...

其の罪を免除す

其の罪を免除す

一 其の罪を免除す

一 其の罪を免除す

一 其の罪を免除す

一 其の罪を免除す

一 其の罪を免除す

一 其の罪を免除す

一 其の罪を免除す

一 其の罪を免除す

一 其の罪を免除す

下以市北而... 借主... 西... 東... 康... 佐... 一...

下以市北而... 借主... 西... 東... 康... 佐... 一...

東... 康... 佐... 一...

康... 佐... 一...

佐... 一...

一... 未... 中... 西... 右...

一... 未... 中... 西... 右...

中... 西... 右...

西... 右...

右... 一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

廿...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

112
52
志

- 一 此の成りたるよりしてなる用と
- 一 西海之の屋之少可也
- 一 昔の同い山平之

元

12

元

元

Red ink stamp or mark, possibly a seal or signature, located in the upper left quadrant of the left page.

12
53